



静岡市議会議員

まつや清

発行：まつや清を応援する会 〒420-0839 静岡市葵区鷹匠 3-3-1 井口ビル 2A TEL:054-209-5677

Mail:chikyū_house@yahoo.co.jp

静岡市議会 観光文化経済委員会 デジタル社会推進特別委員会 静岡市議会 超党派太鼓サークル「葵陣太鼓」事務局長



2023年6月議会 統括質問

田辺市政から難波市政へ！何が変わったのだろうか！何が変わっていくのだろうか！

難波市長の政治姿勢について3点、まつや総括質問、すべてに難波市長は答弁！

国政「議院内閣制」と自治体「二元代表制」の違い、議会对応について

まつや：議院内閣制と異なる二元代表制における市長の役割と議会との関係をどのように捉えているか。

難波市長：二元代表制においては、市長と議員をそれぞれ市民が選挙で選出することから、どちらも市民に対し責任を負うという議院内閣制と違いがあります。それぞれの考え方や価値の置き方には多様性があり、市長、議員で考え方が異なることは当然予想されます。そのような考え方や価値の置き方の多様性を認めた上で、それぞれの考え方などを述べ合い、是々非々で活発な議論を交わすことが大事だと考えます。



●ポイント1

自治体では市民は、市長と議員をそれぞれ選挙で選び市長も議会も市民に責任を持ち対等です。国政では議院内閣制で首相を国民が選ぶことができず、国会議員が首相を選び、選んだ多数会派が与党、反対は野党になります。原理の違う制度でありながら、静岡市議会では会派制度が持込まれ、田辺前市長の時には、まつやから市長への質問であるにもかかわらず、多数会派への忖度から「市長答弁をしない」ことが度々ありました。難波市長においては、「市長への質問には市長が答弁する」ことが明確になりました。

●ポイント2

3月の市長選挙は、共産党を除く緑の党を含めた全会派が難波市長を応援しました。特に自民党は、「20の政策」について、政策合意しています。ところが、難波市長は6月議会所信表明で、田辺市長の第4次総を「発展的に継承するが、時代認識、市政運営、人口減少の分野は不十分」とし、共創と根拠と共感に基づく温かい市政の推進という独自色を打ち出しました。繁田和三議員は、自民党代表質問で、「私たちは政権与党」という言葉を使い、「4次総の継続」について質問しました。難波市長は自民党との関係をどうするのか。「20の政策合意」を尊重するが、「言いなり」にならないスタンスを示しています。

●ポイント3

難波市長は、自民党など多数会派と市民の見えないところで、事前調整し、多数会派は難波市長提案に、**なんでも賛成**するのか。議会は全て公の場での議論が前提です。まつやは、総括質問の中で、難波市長を応援しましたし、これからも応援をしますが、難波市長から提案される議案について、公の場での議論を通じ、是々非々で臨みたいと思います。

6月議会ではマイナンバーカード活用の印鑑条例一部改正(p4参照)に反対しました。9月議会では、難波市長の情報公開についての政治姿勢を取り上げる予定です。

城北から

コロナ禍で3年中止の3町(岳美・唐瀬・唐瀬通り)夏祭り復活！

子どもの参加多数 盆踊り、麻機太鼓、花火大会 楽しい思い出に



8月12日、城北学区3町夏祭り(当番：岳美町内会)には、たくさんの飲食の出店や子ども神輿、ジャグリング、キッズダンスなど、大勢の参加で盛り上がる夏祭りでした。

翌日、70名ほどの役員の方々により、祭りの後の片付けや花火の破片拾いを実施され、コミュニティの力が発揮されました。来年は、唐瀬通り自治会が担当されるそうです。7月30日には、城北町内会子ども会夏祭りも開催されるなど、全市的に地域の「祭り」が復活しました。停止していたコミュニティ活動に大きな期待が持てます。台風シーズンを迎え、今年の台風15号を教訓に、今年の台風2号、台風6号、7号の襲来は地域防災の力が試されました。





6月議会 まつや総括質問 南アルプスとリニア新幹線について
難波市長は、JR 東海に毅然とした態度を！
リニア建設事業影響評価協議会で、生態系保全に積極提言を！

「南アルプスとリニアを考える市民ネットワーク」(まつや清も共同代表の一人)は、7月18日に協議会のネット公開や「360万㎡の土砂」、「沢の流量」、「ボーリング調査」などについて緊急申し入れを行いました。ネット公開は、即日実現しました。

<総括質疑>

まつや質問: 20の政令市において理系の市長は2人です。ひとは横浜市長、もうひとりが、難波市長です。リニア中央新幹線建設事業に伴う環境保全の事業では、科学的工学的な視点が不可欠と考えるが、市長の考えを伺います。

難波市長答弁: 県の副知事から現在の市長の立場になっても、考え方が変わることはありません。今後も市長としても、市政においても科学的・工学的根拠に基づき判断し、社会に分かりやすい情報発信を心掛けていきます

まつや質問: 本市は、静岡市リニア中央新幹線建設事業環境影響評価協議会での専門家の議論をもとに、国やJR東海に対して積極的に市の意見を伝えていくべきではないでしょうか。

環境局長答弁: 国や県の議論を注視し、協議会を開催し、専門家による科学的根拠に基づく議論を行い、国やJR東海に対し市の意見を示していきます。

ポイント1

自民党との「リニア推進」政策協定により、「反川勝知事」姿勢を明確にするのではないかとこの憶測がありました。マスコミ会見で「反川勝姿勢」を質問され「そんな単純な問題ではない」と一蹴しています。

ポイント2

難波市長は、7月21日に協議会を開催し、今後の方針説明、委員への答弁を「自分が一番知っている」として、全て一人でやり切るという「離れ業」を演じました。JR東海に対しては、県の専門部会と連携し、県副知事時代同様に毅然と対応ができるのかは、市民世論の広がりや監視体制如何です。



6月議会 まつや総括質問 有機農業と有機農業学校給食
市長、教育長答弁を踏まえオーガニックビレッジ宣言
有機農業計画の策定を！

小中学校の学校給食のお米使用量は458t
 三保第二小(100食)小規模校から試行を！

昨年11月議会で、農水省の「みどりの食料システム戦略」に基づき第2次農業振興計画の策定経過と有機農業について質問しました。

まつや質問: 公表された計画書には、有機農業という言葉は1か所しか使われていません。難波市長は、振興計画における有機農業の位置づけをどのように考えますか。

難波市長答弁: 4次総では、環境負荷の低減について、具体的な記述はありません。振興計画は「みどりの食料システム戦略」でのカーボンニュートラル等の環境負荷軽減や有機農業の拡大を進める社会の潮流には、乗っていないと考えます。有機農業の推進は、本市が本気で推進すべき問題です。これまでの延長線上ではない取組が必要です。市政変革研究会では、静岡型有機農業システムの研究進め、早期に政策・施策として提示したいと思います。

まつや質問: 有機米の学校給食への導入について、教育長はどのように考えますか。

赤堀教育長: 環境負荷低減米(有機米等)の学校給食への導入は教育的意義があると考えます。しかし、供給量に課題がある。今後は、国の動きや他都市の事例を参考にしながら、静岡県学校給食会や農協、関係部局と連携しながら導入の可の可能性を検討します。

7月26日、オーガニックビレッジ宣言をした亀岡市長に、お話を聞きに行ってきました。県内では、藤枝市と掛川市が宣言をし、5年間の有機農業計画を作り、国の交付金も得ています。県学校給食会と連携し、有機米の学校給食導入を着々と進めています。市長と教育長の答弁を踏まえれば、まずオーガニックビレッジ宣言を行い、農家の生産意欲を「高め」、行政の「やる気」、市民の声の「広がり」で実現可能です。6月議会総括質問の様子は、「チャンネルまつや」から視聴できます。



麻機遊水地治水計画の2-2工区

具体的施策に市民の声を届けよう！

6月に台風2号による城北学区岳美町内会の冠水現場(観山中学校テニスコート付近)の住民の方から、改善の要望を受けました。被災状況を調査し、建設局葵南道路整備課や河川課に対策を求め、住民の皆さんに報告しました。未だ、根本解決には至っていません。

6月議会では、難波市長から巴川遊水地対策方針(新たな治水対策の検討、域災害発生予測・伝達システムの検討、等治水対策研究会の開催)の予算として、1億2600万が示されました。6月10日に開催された「バーテル安東川ネットワーク総会」で詳細説明をしました。ご希望があれば、出前講座をさせていただきます。また、7月20日地域総務課主催の城北学区「自主防災」研修会、7月23日城北学区自治会連合会会長呼掛け水害意見聴取会に参加しました。

旧統一教会からの議会陳情「議長供覧」に決定

陳情内容は、「旧統一教会と政治家の断絶を求める議会決議を上げない」ことを求めるもので、「決議が行われれば、熊本市や大阪市のように憲法違反として訴訟を起こす」という威嚇的のものでした。

私は、6月22日の議会運営委員会で、内容には反対だが、駿河区民として、陳情を持参されているので、民主主義のルールとして受け入れるべきと主張しました。緑の党と共産党を除いた多数会派によって、「議長供覧」扱いに決定されました。

5年ぶりの静岡マラソン開催 静岡市1億円の負担金支出！

これまで4500万円を実行委員会に補助金支出、再開にあたって市が実行委員会の一員となり協賛金の大幅減収補填分含め1億円の負担金を支出するという提案が難波市長から来ました。疑問の多い提案ですが賛成しました。皆様からのご意見求めます。

9月議会 市は薬科給食センターで規格外有機野菜の活用を検証、農協と連携し、規格外農産物活用の加工品開発を予定していると発表
<参考>オーガニック学校給食について

静岡市の学校給食のお米の年間購入量は458t。全量、県内産で、経済連を通して静岡県学校給食会から年間1億2800万で購入(1kg280円)

市内米農家の1ha以上のコメ農家は38戸総面積167ha(市内39ha 市外128ha)

通常1ha当たり5tの収穫量、特別栽培米(化学肥料・農薬50%削減)は4t、有機米(2年間化学肥料・農薬不使用)は、更に減収

先進自治体である、千葉県いすみ市では、生態系環境の保護の観点で化学農薬・肥料を使わない、手間暇かかる有機米への転換を、減収への補填や1kg430円で購入することで実現しました。

三保第二小のような児童生徒100人という小規模校から試行するとすれば、1日8kg。市内農家への有機米の委託から始めることが可能です。

写真で見る
 まつや清
 活動の
 日々



6月11日 ●松谷清を応援する会総会・講演会(テーマ:おまちの未来)



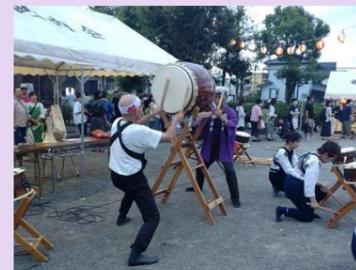
7月17日 ●汚染水海洋放水反対集会(いわき市小名浜海岸)



7月29日 ●鈴木エイト講演会「統一教会問題を考える」著書にサイン



8月18日 ●自治体議員全国政策研究会(メイン講師の岸本聡子杉並区長と)



8月19日 ●竜南地区夏祭り 座・鼓 竜メンバーと太鼓演奏で盛り上げる



8月27日 ●外国人無料検診会チャリティコンサート(於:英和女学院)

地域の外国人の問題を考える

アジアを考える静岡フォーラム 代表 岩崎圭介さん

私は、外国人のための無料健康相談と検診会に10年参加しました。この会に参加して、松谷さんや榎本先生など多くのボランティアの方々と出会うことができ、そして、ブラジル、中国、フィリピン、インドネシアなど多国籍の方が、多い時には100人以上受診され、この静岡で生活していることを知りました。

検診会では、お祈りの場所の確保やお弁当の具材など文化のこと。言葉の壁から医療通訳者の必要性。諸事情で医療保険証がない方の受診など、外国人の問題を考えるきっかけになりました。



7月には、アジアを考える静岡フォーラムの代表を受け継ぎました。横井さん、松谷さん達の熱量に近づけるよう、さらに一歩踏み込んだ活動を、皆さんと一緒に、広げて行こうと思います。

●外国人のための無料健康相談と検診会 ボランティア募集中
10月15日(日)8:00~16:00頃 静岡済生会病院
(通訳・一般ボランティア) 連絡先:054-209-5676 地球ハウス

まつや、期末手当引き上げ分を法務局へ供託

期末手当の引き上げに反対した以上、政治信条として、引き上げ分を受け取ることは出来ません。報酬の返還は、公職選挙法の寄付行為に当たるため、引き上げ分6万3,144円を静岡市から法務局に委託し、残りの期末手当を受領しました。

印鑑条例の一部改正 議案の棚上げを求める要望書！
紙の健康保険証の存続を求める意見書 議会陳情、準備！

マイナンバーカードをめぐるトラブルが続出しています。政府は2万点のポイント付与や2024年秋の紙の保険証を廃止＝マイナ保険証によりマイナンバーカード義務化を強引に進めようとしてきました。しかし、コンビニでの証明書誤発行、公金受け取り口座の紐づけミス、保険証における他人の登録など次から次へ問題が発覚しました。こうした中、6月議会に「コンビニでのスマートフォン活用による印鑑証明発行」が可能となる条例改正案が提案されました。共通番号制を考える会などが呼びかけ結成された「紙の健康保険証の存続を求める実行委員会」は、『政府から自治体に総点検が要請されている現状を踏まえるなら、条例改正を急ぐ必要はない』との要望書を提出しました。まつやもその趣旨に賛同し、反対しました。

8月12日、静岡新聞に、「来年秋に健康保険証廃止、マイナンバーカードと一体化する方針への受け止め」についてのアンケート結果が掲載されました。(全国の市区町村に対しての共同通信調べ)

それによると、県内33区市町のうち紙の保険証廃止の延期18、予定通り廃止4、その他は11でした。難波市長は、「カード所持が義務でないこと。保険証の廃止の矛盾について解決方法が示されていないこと」を理由に、「その他」を選択したと答えています。

市民グループは複数回にわたって「紙の保険証の存続」を求めてキャンペーンを行い9月議会に向けて「紙の保険証の存続を求める」議会陳情を準備しています。9月28日の厚生委員会で審査される予定です。

議会傍聴にぜひ、お越しください。



共通番号制を考える会 山崎代表 要望書提出

敗戦78年目 戦没者追悼記念式典開催！
憲法前文を思い起こす機会に！

日本国憲法前文には「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起きることのないように決意する」とあります。ロシアのウクライナ侵略戦争にかこつけて、声高に語られる台湾有事。8月8日、麻生自民党副総裁は、台湾訪問の際、「戦う覚悟」を強調しました。8月10日には、沖縄タイムス社説に「麻生氏は戦う覚悟と言うが、どこが戦場になることを想定しているのだろうか。台湾や沖縄の人々が被る被害を前提にしているのだろうか」とあります。

8月11日、靖国問題連絡協主催第53回平和記念講演で、防衛ジャーナリストの半田滋さんは、「敵基地攻撃と日米一体化」で、集団的自衛権の行使を容認した安保法制に敵基地攻撃能力(ミサイル射程距離)を持つことで、日本の戦争体制が具体化しつつあることについて警鐘を鳴らしてくれました。

8月6日は広島市長が9日には長崎市長が「核抑止」論の破綻を明言し、政府に対して、1日も早い核兵器禁止条約オブザーバー参加を促しました。15日の式典で読み上げられた憲法前文を聞き、シベリアに抑留された父、フィリピンで戦死した伯父を思い起こしました。



観山中・生徒の平和メッセージ

静岡市議会 9月定例会会議日程

- 会期 9月13日～10月11日 29日間
- 9/13 本会議 会期決定・議案上程・説明
- 9/22 9/25 9/27 本会議 総括質問
- 9/28 9/29 厚生・観光文化経済・都市建設委員会
- 10/2 10/3 総務・企業消防・市民環境委員会
- 10/11 本会議



静岡市議会 インターネット配信

まつや清プロフィール

1951年 新潟県柏崎市生れ 静岡大学工学部中退
1987年 静岡市議会議員(3期)、静岡県議会議員(1期)、
国会議員政策秘書を経て、2009年より静岡市議会議員(4期)

イベント・インフォメーション

●9月15日(金)12:15～12:45
気候危機全国アクション
静岡市葵庁舎前(青葉公園口)
地球規模の温暖化による異常気象は、深刻な風水害を引き起こしています。具体的なアクションを！

●9月26日(火)19:30～21:00
地球ハウス学校(オンライン勉強会)
テーマ:紙の健康保険証の存続
講師:山崎秀和さん
(共通番号制を考える会 代表)
問合せ先:054-209-5676 地球ハウス
(月)・(水)・(金) 9:30～16:00

